第４５回

府中市市政世論調査

（概要版）

平成25年

府　中　市

＜ 目 次 ＞

府中市市政世論調査について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
回答者の属性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【住み心地】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
■府中市は住みよいところだと感じるか ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
【住まいの環境】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
■身近な住まいの環境についての率直な感想 ・・・・・・・・・・・・・・ 4
【生活の満足度】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
■現在の生活にどの程度満足しているか ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
【定住意向】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
■今後も府中市に住み続けたいと思うか ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
【市政に対する関心度】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
■市政にどの程度関心を持っているか ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
【市への要望】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと ・・・・・・・・・・・ 8
【公共施設】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
■公共施設の数や立地についてどのように感じているか ・・・・・・・・・ 10
■公共施設のハード面（設備や機能）についてどのように感じているか ・・ 10
■公共施設のソフト面（運営状況や事業内容）についてどのように感じているか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
■一部の公共施設の運営を民間業者へ委ねていることについてどのように思うか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
【男女共同参画社会】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
■家庭における男女のあり方は、本来どうあるべきだと思うか ・・・・・・ 12
■あなたの家庭での男女の状況はどのようになっているか ・・・・・・・・・ 12
■女性が職業を長く持ち続けていく上で、最も大きな障害となっていると思うものは何か ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
■男女が共に認め合い、いきいきと豊かに暮らせる社会を実現させるために、特に力を入れてほしいことは何か ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
■「スクエア２１・女性センター」を知っているか ・・・・・・・・・・・ 14
【府中市の農業】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
■農業・農地にどのような機能や役割を期待するか ・・・・・・・・・・・ 14
■農地が減ることについてどのように感じているか ・・・・・・・・・・・ 15
■農業振興のために力を入れるべき施策・事業 ・・・・・・・・・・・・・ 15
【スポーツ・運動】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
■学生時代に部活動や同好会、サークル活動又は地域のクラブ等でスポーツや運動をしていたことがあるか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
■この１年間にスポーツや運動をどの程度行ったか ・・・・・・・・・・・ 16

■この１年間に行ったスポーツや運動は何か ・・・・・・・・・・・・・・・ 17
■今後行ってみたいスポーツや運動は何か ・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
■この１年間にスポーツを支える活動をどの程度行ったか ・・・・・・・・ 18
■スポーツ施設の予約が行える公共施設予約システムに満足しているか ・・ 18
【災害への備え】について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
■市が整備している災害時の情報伝達手段を知っているか ・・・・・・・・ 19
■夕方の時報放送（通称：愛の鐘）の自宅での聞こえ方はどうか ・・・・・ 19
■防災行政無線で放送された災害情報が聞き取りづらかった場合、
最初にどの手段で放送内容を確認するか ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
■家族全員の分を考慮した「災害時用として備蓄している食料」は何日分
あるか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
■家族全員の分を考慮した「災害時用として備蓄している飲料水」は何日分
あるか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
■災害時の食料や飲料水の備蓄に関してどのように考えているか ・・・・・ 21
■災害時に一時的に避難する場所をあらかじめ決めているか ・・・・・・・ 22
■大規模災害が発生し、ライフラインは停止したが自宅に倒壊や火災延焼
の危険がない場合、発災から３日間程度はどのように行動するか ・・・・ 22
【けやき並木及び周辺におけるまちづくり】について ・・・・・・・・・・・・ 23
■けやき並木及び周辺を利用する頻度はどのくらいか ・・・・・・・・・・ 23
■けやき並木及び周辺にどのような魅力を感じているか ・・・・・・・・・ 23
■けやき並木及び周辺のにぎわいについて、どの程度満足しているか ・・・ 24
■けやき並木及び周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりのため、
どのような取り組みを進めるとよいか ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 45 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「公共施設」「男女共同参画社会」「府中市の農業」「スポーツ・運動」「災害への備え」「けやき並木及び周辺におけるまちづくり」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申しあげます。

調査の方法

調査の地域	：府中市全域
調査対象者	：府中市在住の満 20 歳以上の男女
標本数	：1,000 人
抽出方法	：地点を用いた二段抽出法 （住民基本台帳の登録人口を 11 の文化センター地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法）
調査方法	：面接聴取法
調査期間	：平成 25 年6月 1 日(土)～平成 25 年7月 15 日(月)
有効回収数（率）	：836(83.6%)

調査の内容

1．住み心地
2．住まいの環境
3．生活の満足度
4．定住意向
5．市政に関する関心度
6．市への要望

〈第 45 回特設設問〉

7．公共施設
8．男女共同参画社会
9．府中市の農業
10．スポーツ・運動
11．災害への備え
12．けやき並木及び周辺におけるまちづくり

注意事項

本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

（1） 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答（1 つだけ選ぶ設問）に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答（2 つ以上選んでよい設問）の設問の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。

（2） 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

回答者の属性

有効回答数８３６件の属性別回答者数と構成比を表します。

［性別］

	回答者数	構成比(%)
男性	375	44.9
女性	461	55.1
(無回答)	0	0.0

［未婚・既婚］

	回答者数	構成比(%)
未婚	201	24.0
既婚(離別・死別含む)	609	72.8
(無回答)	26	3.1

［年齢］

	回答者数	構成比(%)
20～29歳	99	11.8
30～39歳	141	16.9
40～49歳	193	23.1
50～59歳	124	14.8
60～69歳	125	15.0
70歳以上	154	18.4
(無回答)	0	0.0

［職業］

	回答者数	構成比(%)
事務職	98	11.7
専門・技術職	133	15.9
労務・サービス職	84	10.0
役員・管理職	46	5.5
商・工・サービス業	33	3.9
自由業	34	4.1
農林漁業	0	0.0
内職・パート・フリーター	106	12.7
主婦（家事専業）	132	15.8
学生	19	2.3
無職	131	15.7
(無回答)	20	2.4

［ライフステージ］

	回答者数	構成比(%)
独身期	129	15.4
家族形成期	76	9.1
家族成長前期	103	12.3
家族成長後期・家族成熟期	118	14.1
高齢期	85	10.2
高齢者世帯	141	16.9
その他	149	17.8
(無回答)	35	4.2

［地区］

	総人口	対象者数	調査数	回答率	回答者数	構成比(%)
紅葉丘文化センター	22,505	17,987	90	83.3	75	9.0
白糸台文化センター	28,999	24,003	120	79.2	95	11.4
押立文化センター	8,220	6,618	30	73.3	22	2.6
是政文化センター	24,511	19,670	100	85.0	85	10.2
住吉文化センター	26,480	21,302	100	87.0	87	10.4
片町文化センター	28,932	24,412	120	78.3	94	11.2
中央文化センター	38,989	32,457	150	77.3	116	13.9
新町文化センター	27,288	22,017	110	90.9	100	12.0
武蔵台文化センター	15,967	13,222	60	88.3	53	6.3
西府文化センター	18,003	14,285	70	88.6	62	7.4
四谷文化センター	12,971	10,158	50	94.0	47	5.6
総計	252,865	206,131	1,000	83.6	836	100.0

上記対象者数は、平成25年4月1日現在の満20歳以上の人口である。

【住み心地】について

■府中市は住みよいところだと感じるか（n=836）

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、９割半ばが『府中市は住みよい』と感じている。

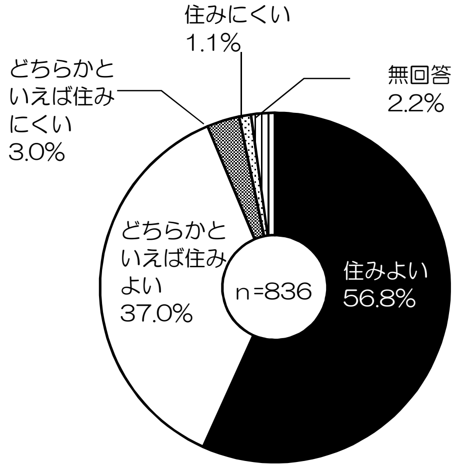

図１ 住み心地

「住みよい」(56.8%)，「どちらかといえば住みよい」(37.0%)を合わせた『住みよいと感じる』割合は、９割半ば(93.8%)にのぼる。

また、「住みにくい」(1.1%)，「どちらかといえば住みにくい」(3.0%)を合わせた『住みにくいと感じる』割合は 4.1%にとどまっている。

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じる割合』は年代別では、「20 歳代」(97.0%)が最も高く、「30 歳代」(91.5%)が最も低い。

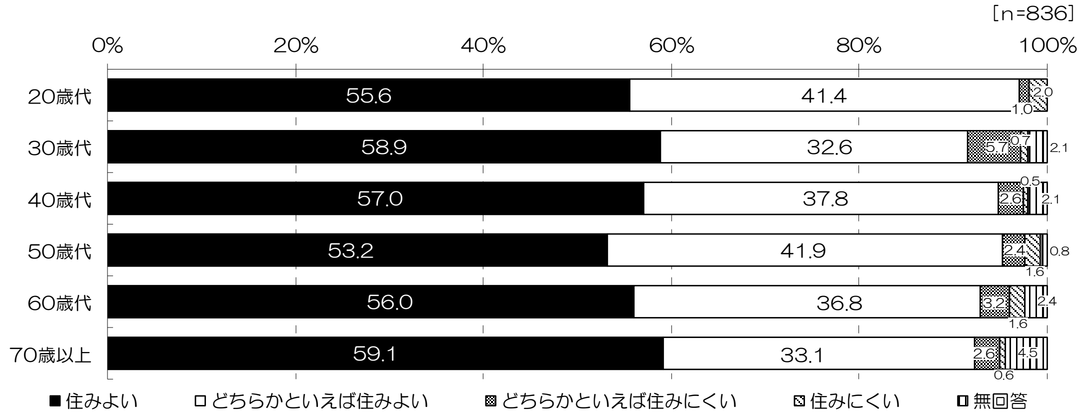

図２ 住み心地(年代別)

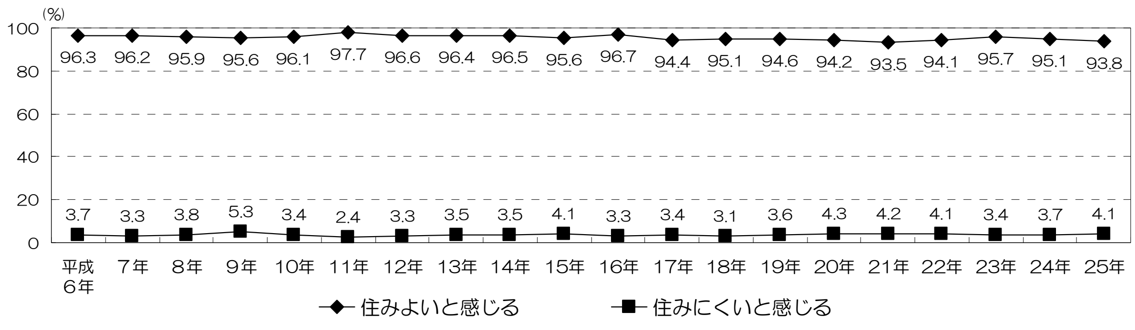

図３ 経年別推移

【住まいの環境】について

■身近な住まいの環境についての率直な感想（n=836）

「緑の豊かさ」「排水の便」「風通し、日当たり」「交通の便」「日常の買い物の便」「公共施設」「空気」については７割以上が『非常によい』『まあよい』と感じている。一方、「騒音や振動の防止」「蚊やハエの発生の防止」「日常の買い物の便」「交通安全対策」の順で『あまりよくない』『非常に悪い』と感じる割合が高い。

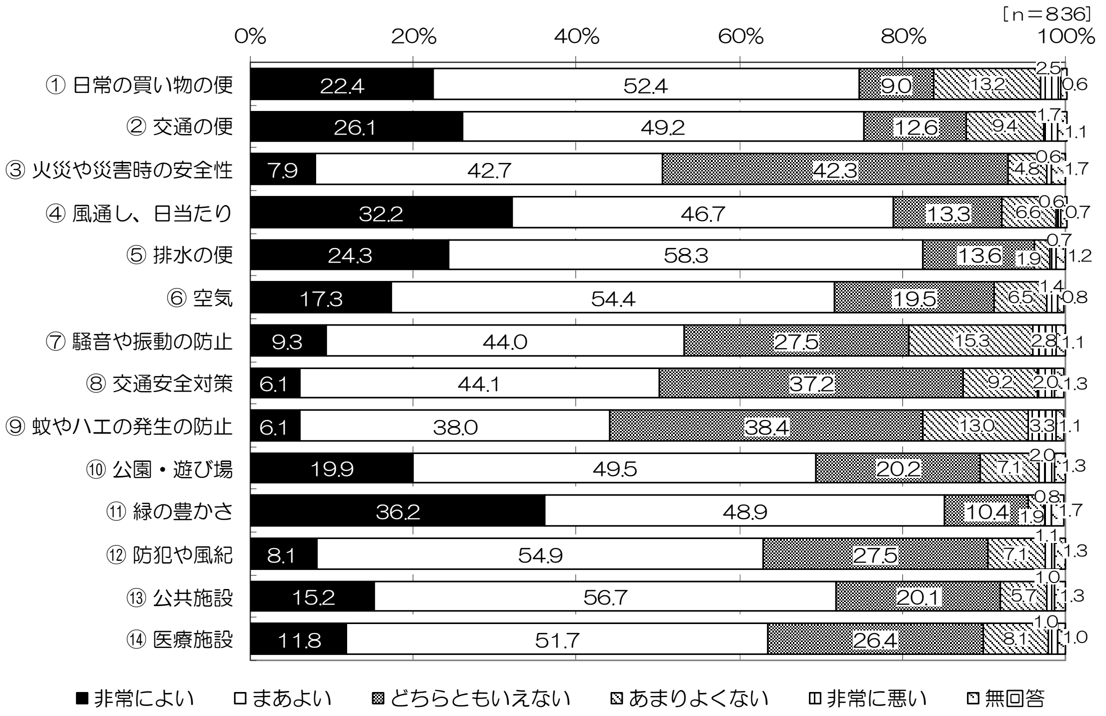

図４ 身近な住まいの環境についての感想

順位	住まいの環境	非常によい または まあよい (%)
1位	⑪ 緑の豊かさ	85.1
2位	⑤ 排水の便	82.6
3位	④ 風通し、日当たり	78.9
4位	② 交通の便	75.3
5位	① 日常の買い物の便	74.8
6位	⑬ 公共施設	71.9
7位	⑥ 空気	71.7
8位	⑩ 公園・遊び場	69.4
9位	⑭ 医療施設	63.5
10位	⑫ 防犯や風紀	63.0
11位	⑦ 騒音や振動の防止	53.3
12位	③ 火災や災害時の安全性	50.6
13位	⑧ 交通安全対策	50.2
14位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	44.1

表１　『よい』と感じる割合の順

順位	住まいの環境	あまりよくない または 非常に悪い (%)
1位	⑦ 騒音や振動の防止	18.1
2位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	16.3
3位	① 日常の買い物の便	15.7
4位	⑧ 交通安全対策	11.2
5位	② 交通の便	11.1
6位	⑩ 公園・遊び場	9.1
	⑭ 医療施設	9.1
8位	⑫ 防犯や風紀	8.2
9位	⑥ 空気	7.9
10位	④ 風通し、日当たり	7.2
11位	⑬ 公共施設	6.7
12位	③ 火災や災害時の安全性	5.4
13位	⑪ 緑の豊かさ	2.7
14位	⑤ 排水の便	2.6

表２　『悪い』と感じる割合の順

【生活の満足度】について

■現在の生活にどの程度満足しているか（n=836）

「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、９割近くが『生活に満足している』と感じている。

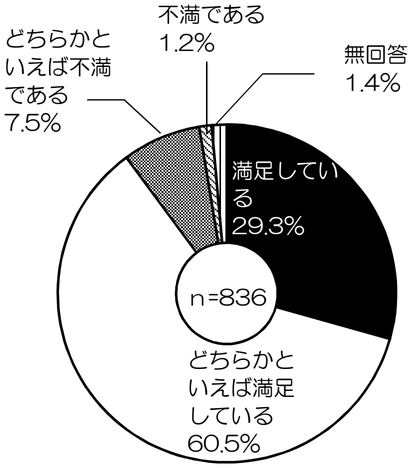

図５ 生活の満足度

「満足している」(29.3%)，「どちらかといえば満足している」(60.5%)を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、９割近く(89.8%)を占める。

また、「不満である」(1.2%)，「どちらかといえば不満である」(7.5%)を合わせた『生活に不満を感じる』割合は、１割(8.7%)に満たない。

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、「20歳代」と「30歳代」(93.0%)が最も高く、「60 歳代」(86.4%)が最も低い。

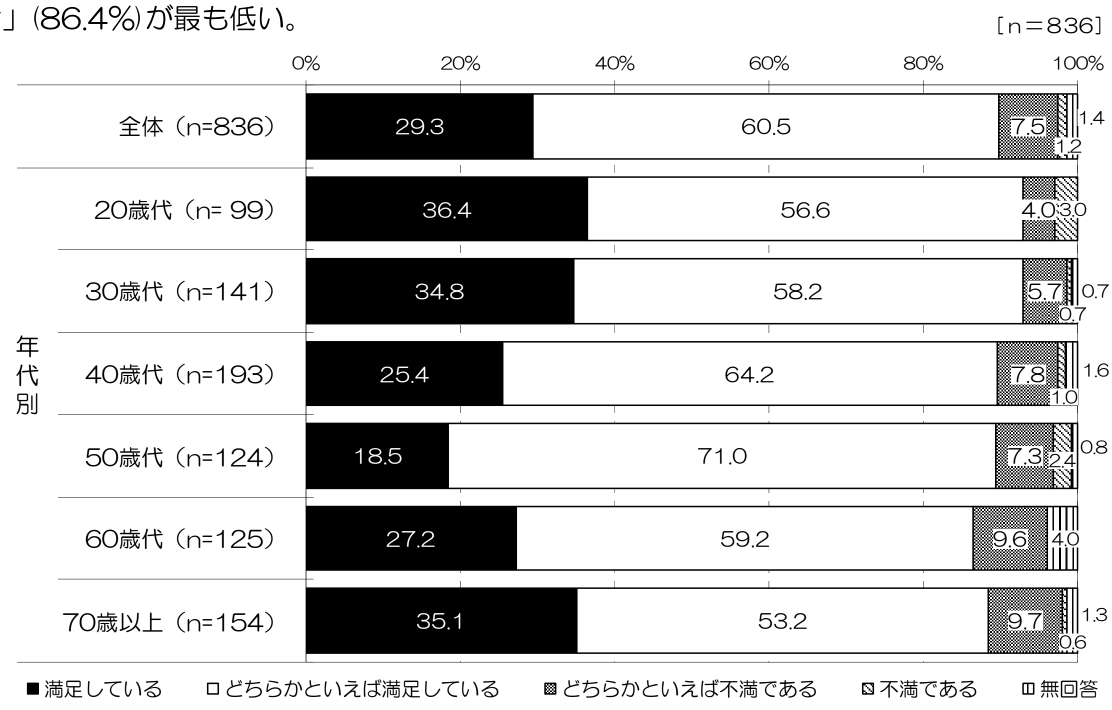

図６ 生活の満足度（年代別）

【定住意向】について

■今後も府中市に住み続けたいと思うか（n=836）

「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」を合わせると、９割半ばが『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。

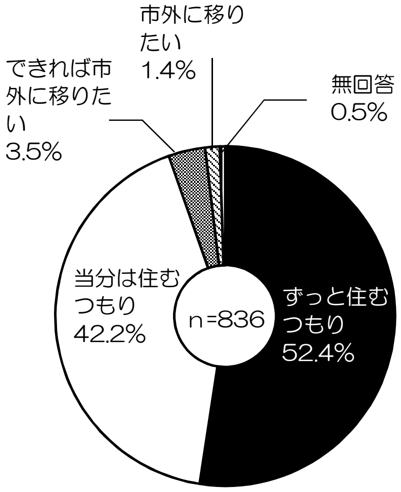

図７ 定住意向

「ずっと住むつもり」(52.4%),「当分は住むつもり」(42.2%)を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、９割半ば(94.6%)を占める。

また、「市外に移りたい」(1.4%),「できれば市外に移りたい」(3.5%)を合わせた『市外に移りたいと感じている』割合は、4.9%である。

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分はずっと住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「70歳以上」(96.7%)が最も高く、「20 歳代」(88.9%)が最も低い。

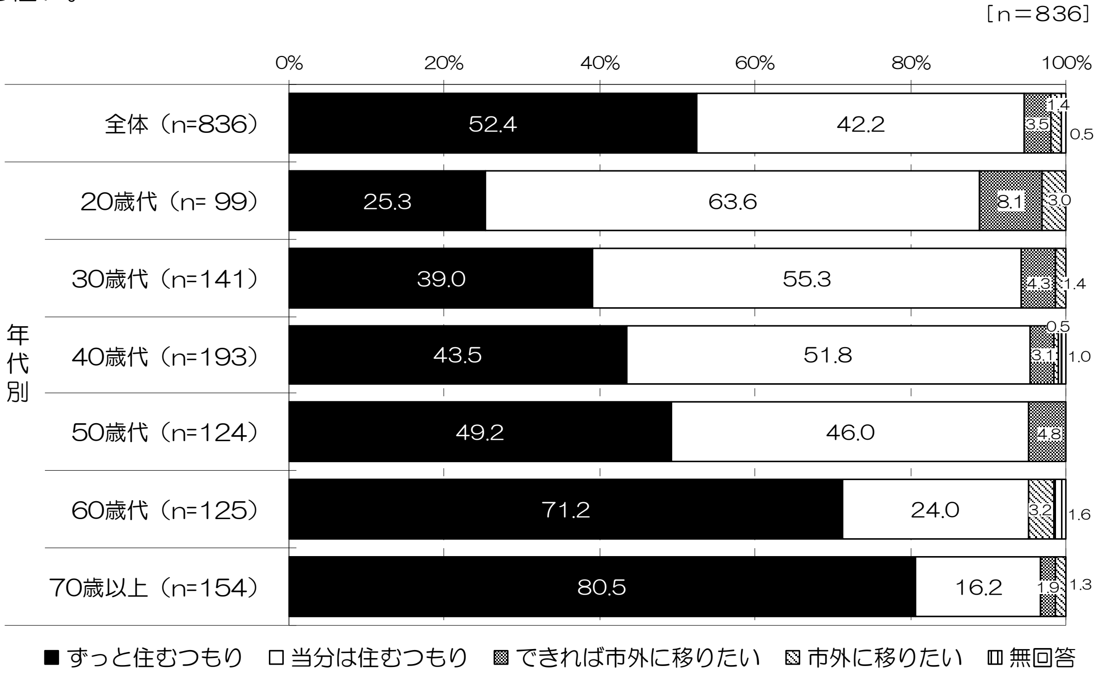

図８ 定住意向（年代別）

【市政に対する関心度】について

■市政にどの程度関心を持っているか（n=836）

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせると、７割近くが市政に関心を持っている。

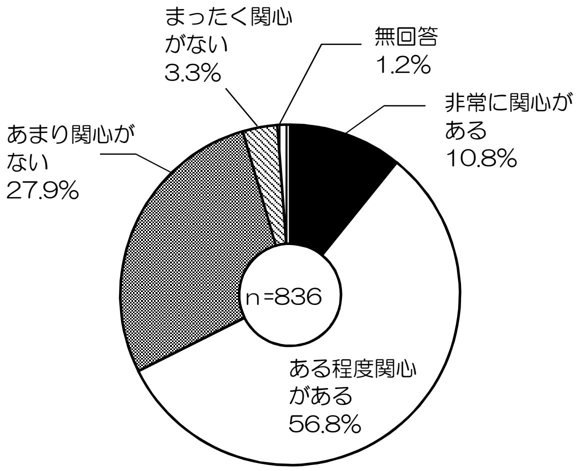

図９ 市政に対する関心度

「非常に関心がある」(10.8%),「ある程度関心がある」(56.8%) を合わせた『市政に関心がある』割合は 67.6%で、７割近くが市政に関心を持っている。

一方、『市政に関心がない』割合は、「まったく関心がない」(3.3%),「あまり関心がない」(27.9%) を合わせた 31.2%である。

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「70 歳以上」(86.4%) が最も高く、「20 歳代」(41.4%) が最も低い。

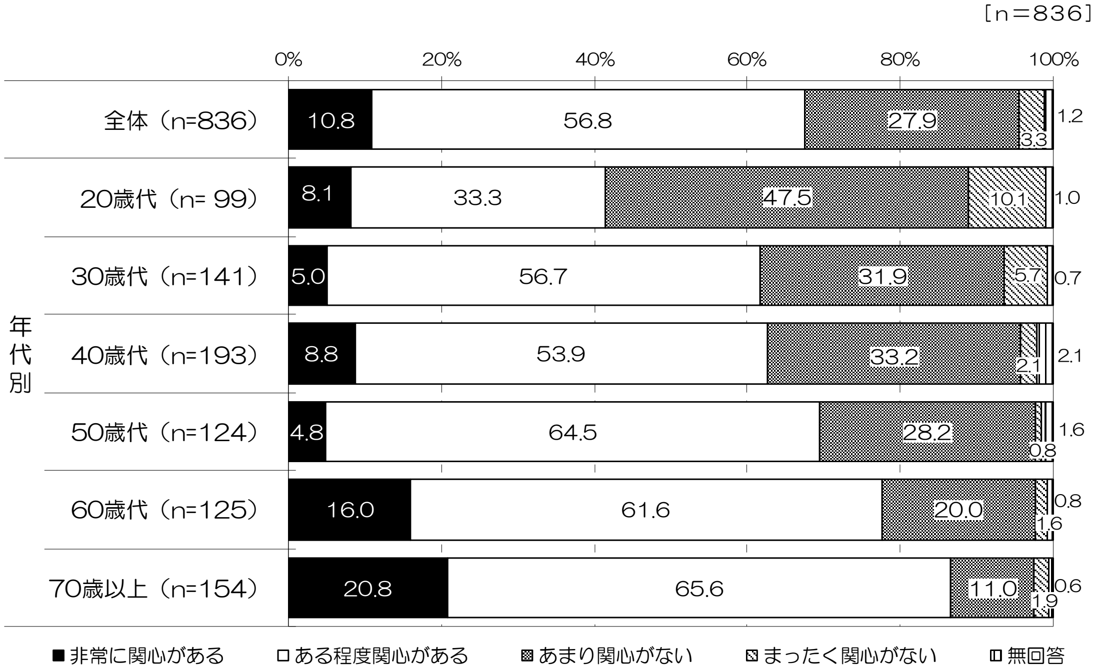

図 10 市政に対する関心度(年代別)

【市への要望】について

■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと（n=836：複数回答）

市への要望として、「高齢者福祉対策」(38.2%)、「防犯・風紀対策」(24.5%)の順に高くなっている。これらに続いて「清掃・環境整備対策」(18.7%)、「市民の健康管理対策」(17.5%)、「消防・防災対策」(14.2%)の順となっている。

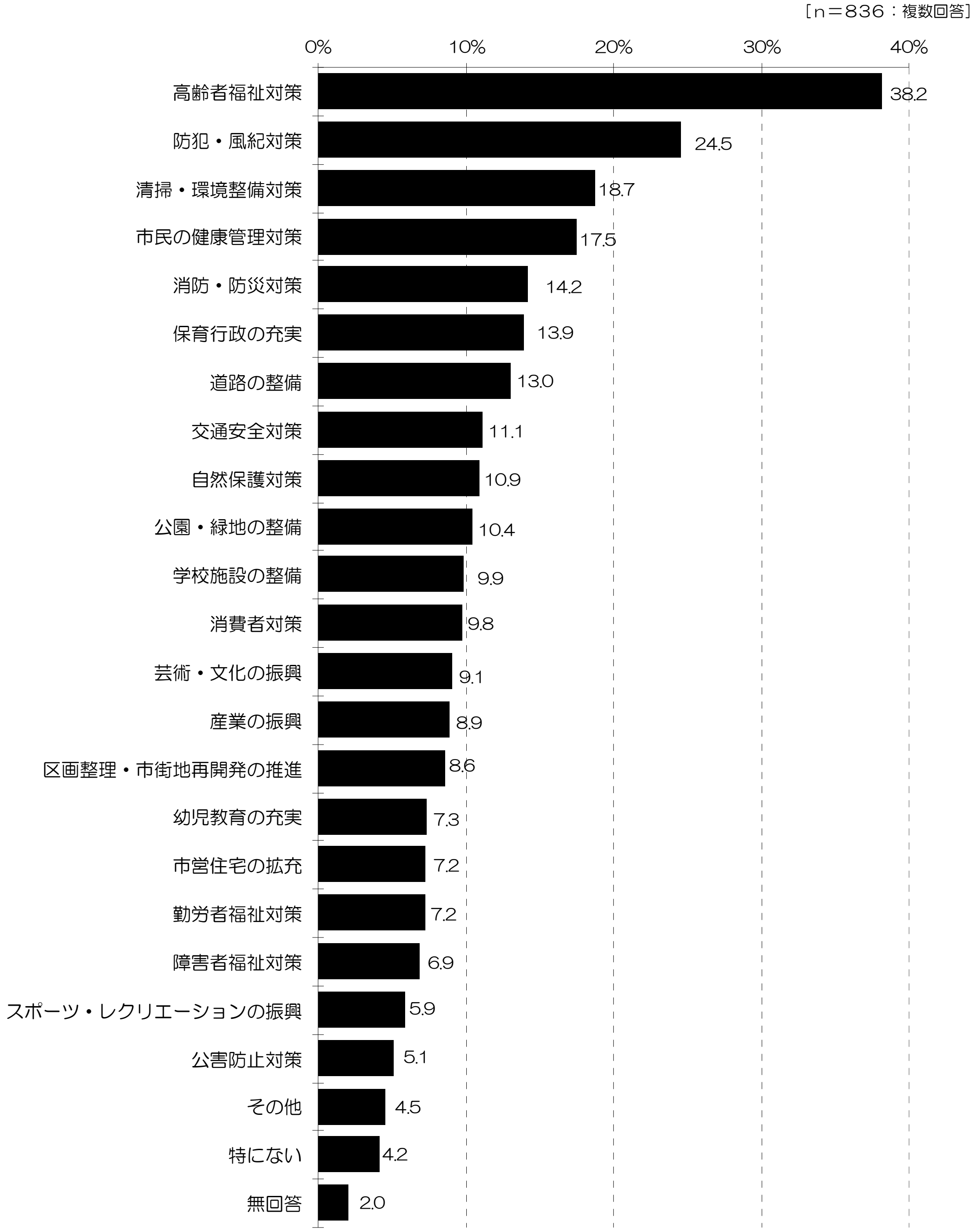

図 11 市への要望

上位５項目について平成１６年度からの順位変動を見ると、今年度１位の「高齢者福祉対策」は、平成１７年度を除くと常に１位となっている。「防犯・風紀対策」は、１７年度から新たに加えられ、常に上位３位に入っている。３位の「清掃・環境整備対策」は、昨年度は上位５項目から外れていた。「市民の健康管理対策」は、毎年上位５項目に含まれている。「消防・防災対策」は、平成２３年度から３年続けて５位となっている。

	n	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年	836	高齢者福祉対策 38.2%	防犯・風紀対策 24.5%	清掃・環境整備対策 18.7%	市民の健康管理対策 17.5%	消防・防災対策 14.2%
24年	846	高齢者福祉対策 35.6%	防犯・風紀対策 28.1%	市民の健康管理対策 17.8%	交通安全対策 17.3%	消防・防災対策 15.2%
23年	835	高齢者福祉対策 34.4%	防犯・風紀対策 26.7%	清掃・環境整備対策 18.1%	市民の健康管理対策 17.0%	消防・防災対策 16.4%
22年	889	高齢者福祉対策 43.5%	市民の健康管理対策 27.0%	防犯・風紀対策 21.9%	清掃・環境整備対策 19.6%	自然保護対策/消費者対策 15.7%
21年	881	高齢者福祉対策 42.0%	防犯・風紀対策 27.0%	清掃・環境整備対策 26.6%	市民の健康管理対策 20.0%	消費者対策 16.1%
20年	889	高齢者福祉対策 42.2%	防犯・風紀対策 30.6%	清掃・環境整備対策 25.8%	市民の健康管理対策 18.3%	消費者対策 15.3%
19年	892	高齢者福祉対策 41.8%	清掃・環境整備対策 32.0%	防犯・風紀対策 31.8%	市民の健康管理対策 16.1%	消費者対策 12.4%
18年	882	高齢者福祉対策 42.7%	防犯・風紀対策 34.5%	清掃・環境整備対策 17.6%	市民の健康管理対策 14.5%	自然保護対策 13.5%
17年	851	防犯・風紀対策 42.1%	高齢者福祉対策 38.1%	清掃・環境整備対策 17.3%	市民の健康管理対策 15.7%	道路の整備 13.2%
16年	876	高齢者福祉対策 38.5%	市民の健康管理対策 20.1%	清掃・環境整備対策 18.0%	自然保護対策 17.6%	交通安全対策 16.1%

表３ 経年推移（上位５位）

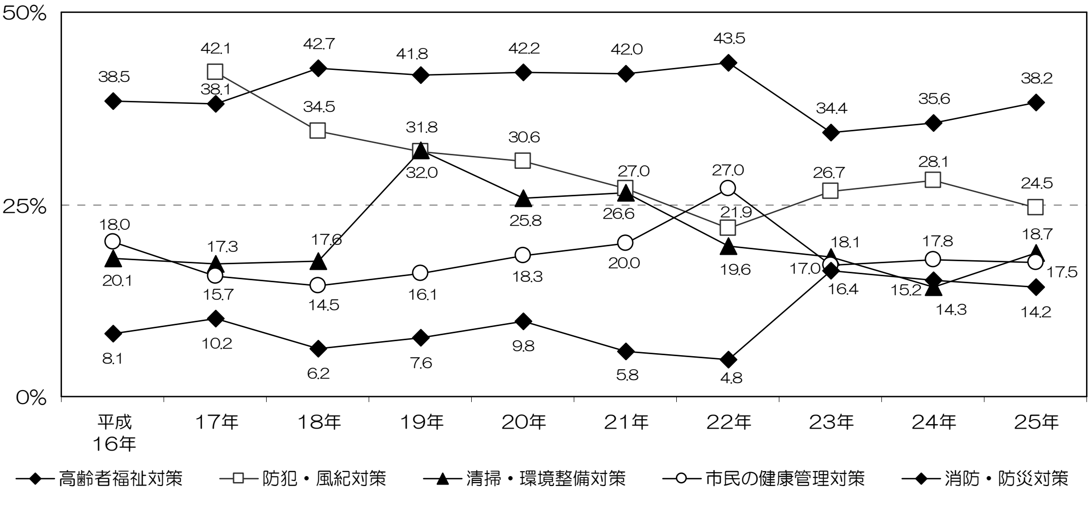

図 12 経年推移(上位５位)

【公共施設】について

■公共施設の数や立地についてどのように感じているか（n=836）

「文化系施設（ホール系施設）」(48.0%)、「市民活動系施設」(44.3%)、「文化系施設（ホール系施設を除く）」(43.1%)については４割以上が『非常に多い』『多い』と感じている。「保健福祉系施設」(23.6%)、「子育て系施設」(20.8%)を『不足』『非常に不足』と感じる割合が高い。

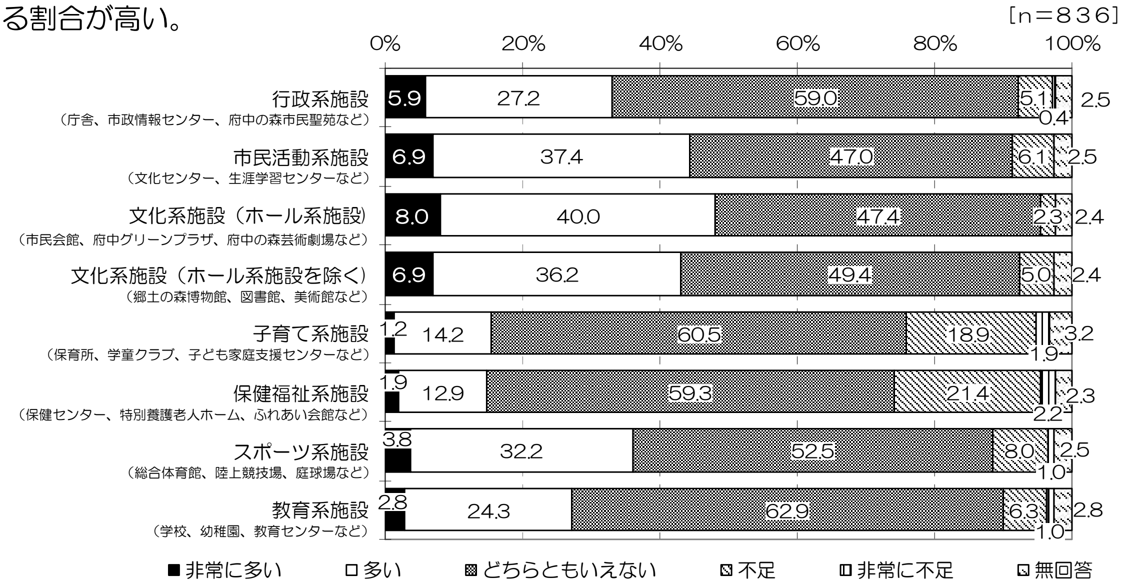

図 13　公共施設の数や立地についての評価

■公共施設のハード面（設備や機能）についてどのように感じているか（n=836）

「文化系施設（ホール系施設）」(57.6%)、「文化系施設（ホール系施設を除く）」(57.2%)、「行政系施設」(53.7%)、「市民活動系施設」(53.0%)については５割以上が『満足している』『ほぼ満足している』と感じている。「保健福祉系施設」(14.2%)、「子育て系施設」(11.4%)を『やや不満である』『不満である』と感じる割合が高い。

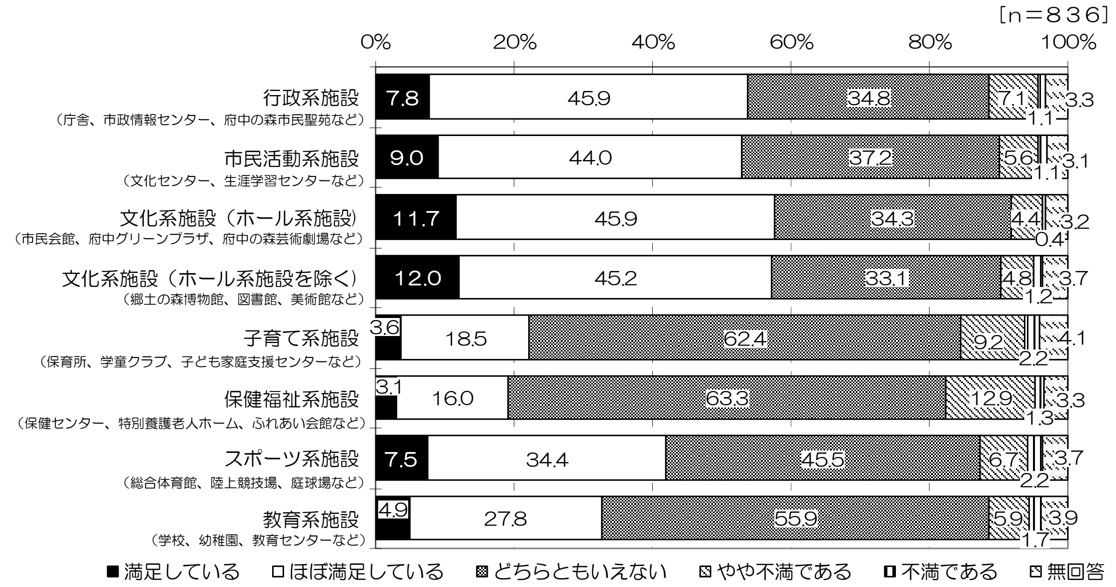

図 14　公共施設のハード面　（設備や機能）についての評価

■公共施設のソフト面（運営状況や事業内容）についてどのように感じているか（n=836）

「文化系施設（ホール系施設）」(47.7%)、「文化系施設（ホール系施設を除く）」(45.8%)、「行政系施設」(42.9%)、「市民活動系施設」(42.5%)については４割以上が『満足している』『ほぼ満足している』と感じている。「保健福祉系施設」（10.6%）、「子育て系施設」(10.5%)を『やや不満である』『不満である』と感じる割合が高い。

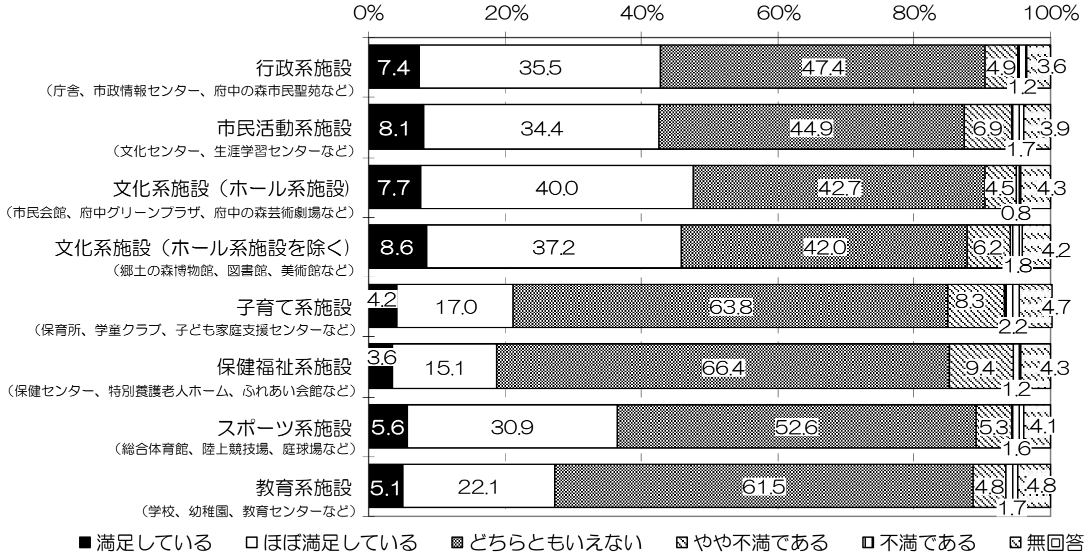

図 15　公共施設のソフト面　（運営状況や事業内容）

■一部の公共施設の運営を民間業者へ委ねていることについてどのように思うか（n=836）

「施設の特性に応じて判断し、適性のある民間業者が担えば問題ない」（65.3%）が６割半ばを占めて最も高い。次いで、「サービスの向上につながるので、積極的に進めるべきである」（18.3%）、「公共施設の運営は、市が直接担うべきである」（7.4%）の順になっている。

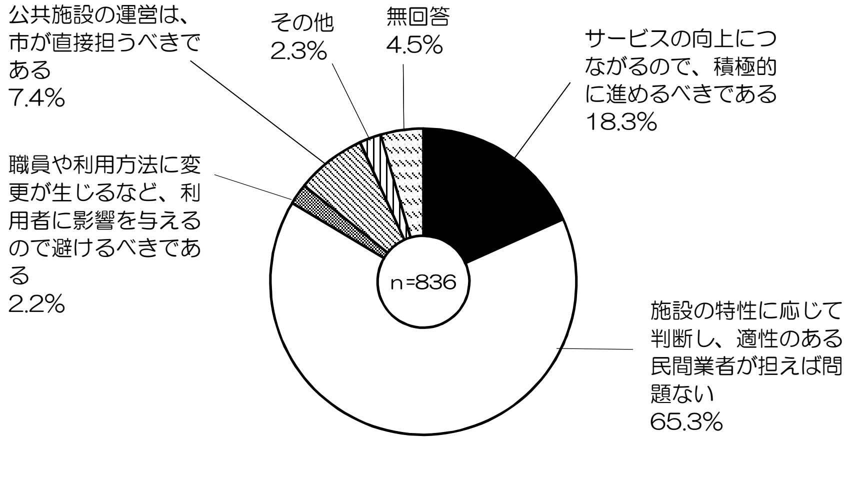

図 16　公共施設運営における民間活用

【男女共同参画社会】について

■家庭における男女のあり方は、本来どのようにあるべきだと思うか（n=836）

「男女とも仕事をし、家事・育児もする」（52.9%）が５割半ばを占める。次いで、「男性は仕事、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする」（24.4%）、「男性は仕事、女性は家事・育児をする」（5.7%）の順になっている。

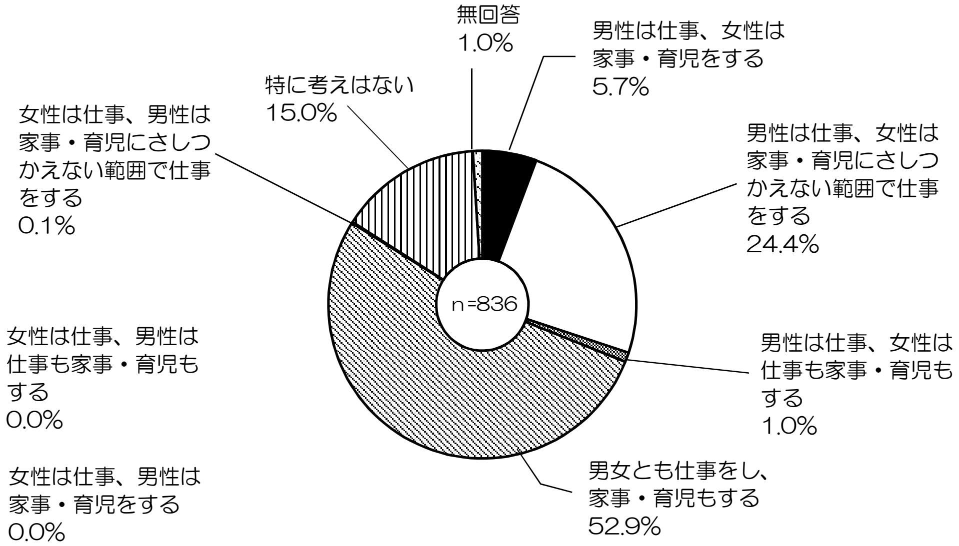

図 17　家庭における男女のあり方

■あなたの家庭での男女の状況はどのようになっているか（n=836）

ひとり暮らしや無回答を除くと、「男性は仕事、女性は家事・育児をしている」、「男性は仕事、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をしている」、「男性は仕事、女性は仕事も家事・育児もしている」を合わせた『男性が仕事のみをしている』家庭が約３分の２、『男女とも仕事をしている』家庭が約３分の１となっている。

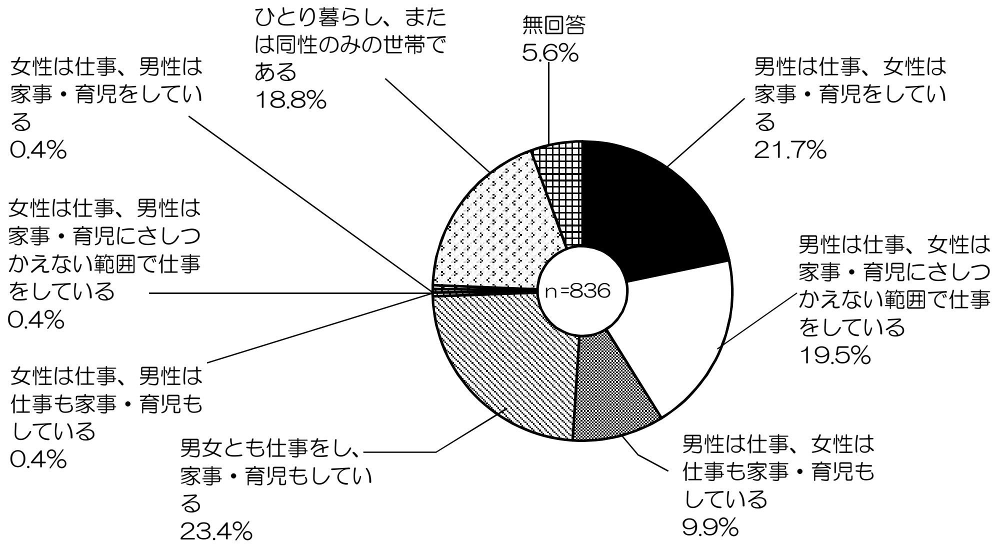

図 18　あなたの家庭における男女の状況

■女性が職業を長く持ち続けていく上で、大きな障害となっていると思うものは何か（n=836）

「家事・育児の両立が難しい」（34.1％）が３割半ばを占め最も高い。次いで「子どもを預ける施設の数やサービスが不足している」（20.2％）、「特にない」（11.5％）の順になっている。

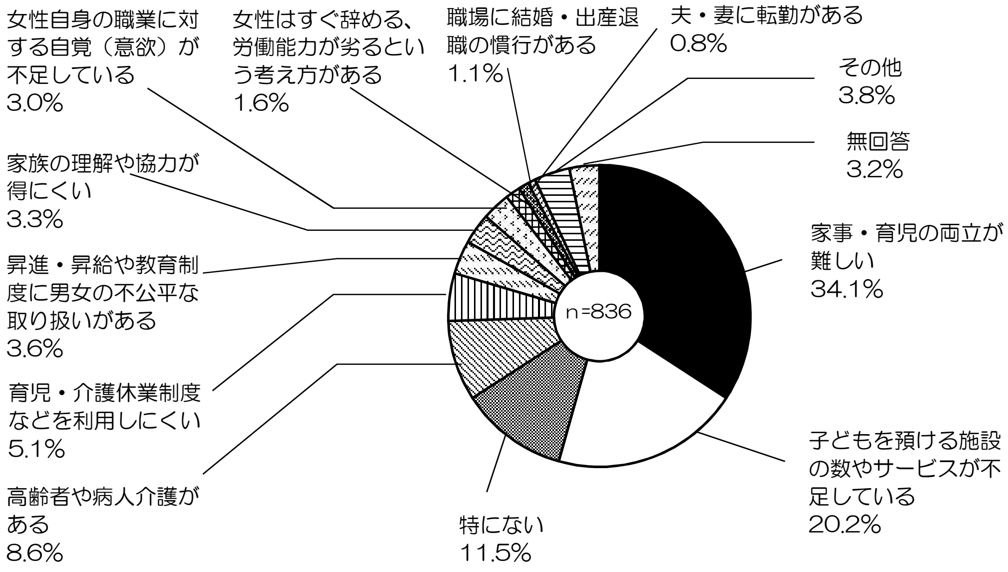

図 19　女性が職業を続ける上での障害

■男女が共に認め合い、いきいきと豊かに暮らせる社会を実現させるために、特に力を入れてほしいことは何か（n=836：複数回答）

「保育や高齢者・病人介護の施設やサービスを充実する」（54.3％）が５割半ばを占め最も高い。

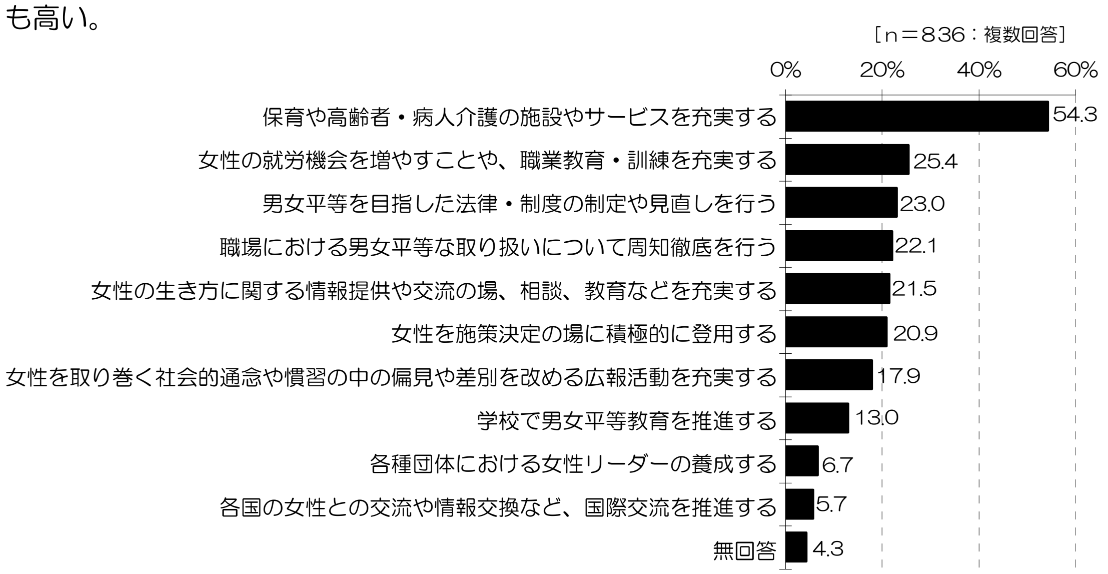

図 20　男女が豊かに暮らせる社会実現のために力を入れてほしいこと

■「スクエア２１・女性センター」を知っているか（n=836）

「施設を利用したことがある」は6.8%であり、約半数が「施設があることを知らなかった」と回答している。

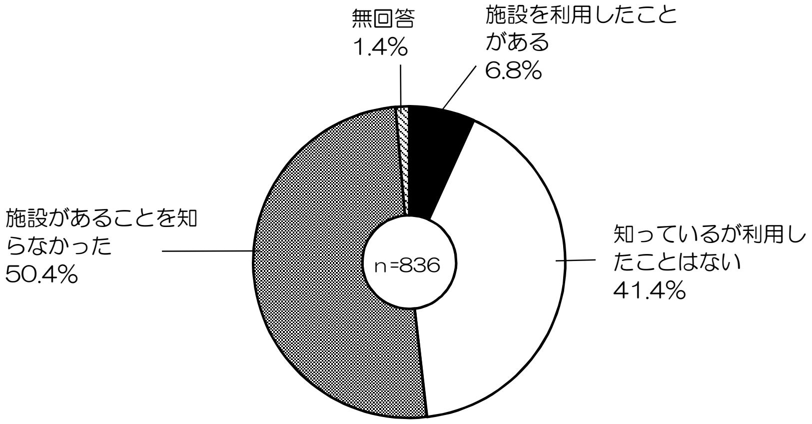

図21　「スクエア２１・女性センター」を知っているか

【府中市の農業】について

■農業・農地にどのような機能や役割を期待するか（n=836：複数回答）

「新鮮で安全な農産物の供給」（73.8%）が７割半ばを占め最も高い。次いで「自然や環境の保全機能」（38.2%）、「地域産業の活性化」（31.1%）の順で３割を超えている。

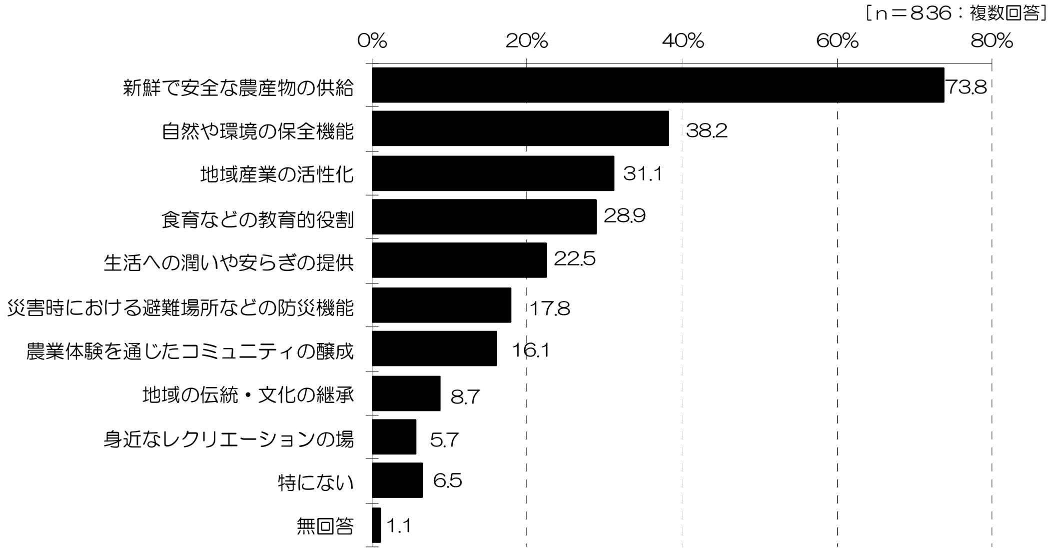

図22　農業・農地に期待する機能や役割

■農地が減ることについてどのように感じているか（n=836）

「これ以上農地を減らさないでほしい」（18.5%）、「できる限り農地を残してほしい」（54.6%）を合わせた『農地を残してほしい』割合が７割を超えている。

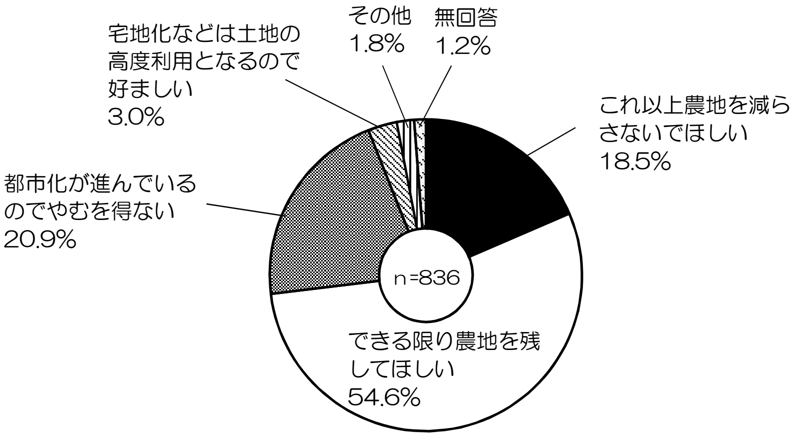

図 23　農地の減少をどのように感じるか

■農業振興のために力を入れるべき施策・事業（n=836：複数回答）

「農産物の直売所の拡大・整備」（38.4%）が最も高く、次いで「学校給食への農産物の使用・供給の拡大」（33.4%）、「子どもを中心とした農業体験や食育の推進」（24.0%）の順になっている。

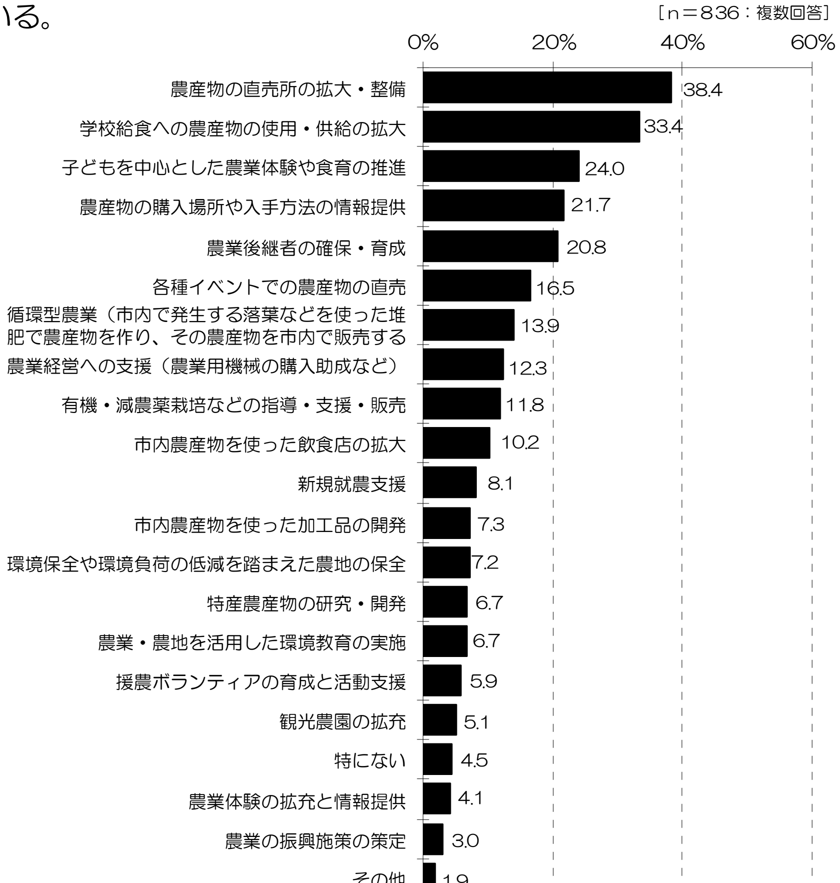

図 24　農業振興のために力を入れるべき施策・事業

【スポーツ・運動】について

■学生時代に部活動や同好会、サークル活動又は地域のクラブ等でスポーツや運動をしていたことがあるか（n=836）

スポーツや運動をしていたことが「ある」（69.7%）が７割近くを占める。

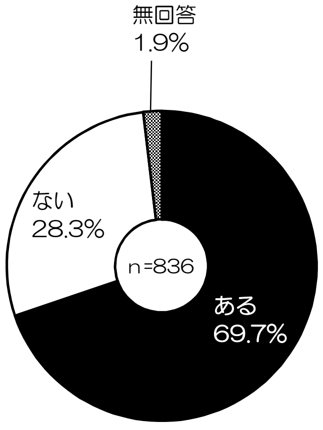

図 25　学生時代のスポーツ・運動の経験

■この１年間にスポーツや運動をどの程度行ったか（n=836）

「週に１、２回程度」（27.8%）が最も高く、次いで「特にやっていない」（27.5%）、「週に３回以上」（17.3%）、「月に１、２回程度」（15.8%）の順になっている。

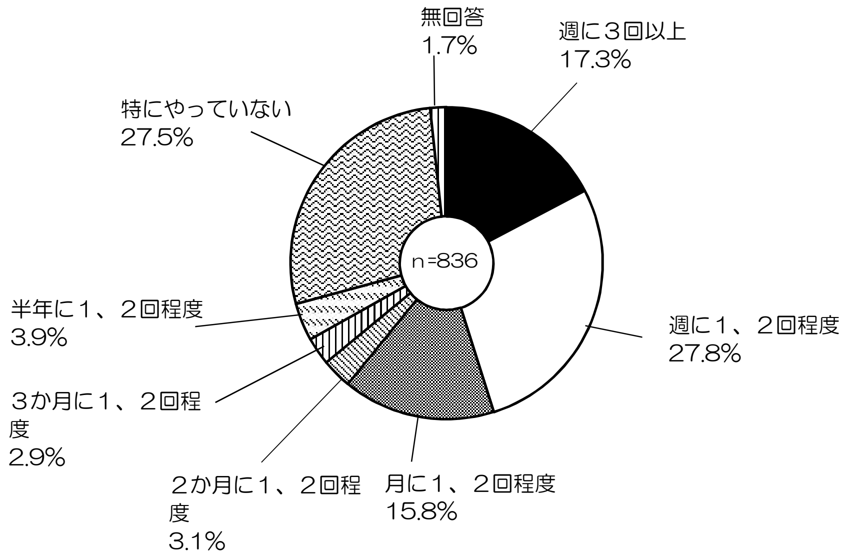

図 26　この１年間に行ったスポーツ・運動の程度

■この１年間に行ったスポーツや運動は何か（n=836：複数回答）

「散歩・ウォーキング」（53.2%）が最も高い。次いで「サイクリング」（12.1%）、「体操（ヨガ・エアロビクス等含む）」（12.0%）の順になっている。

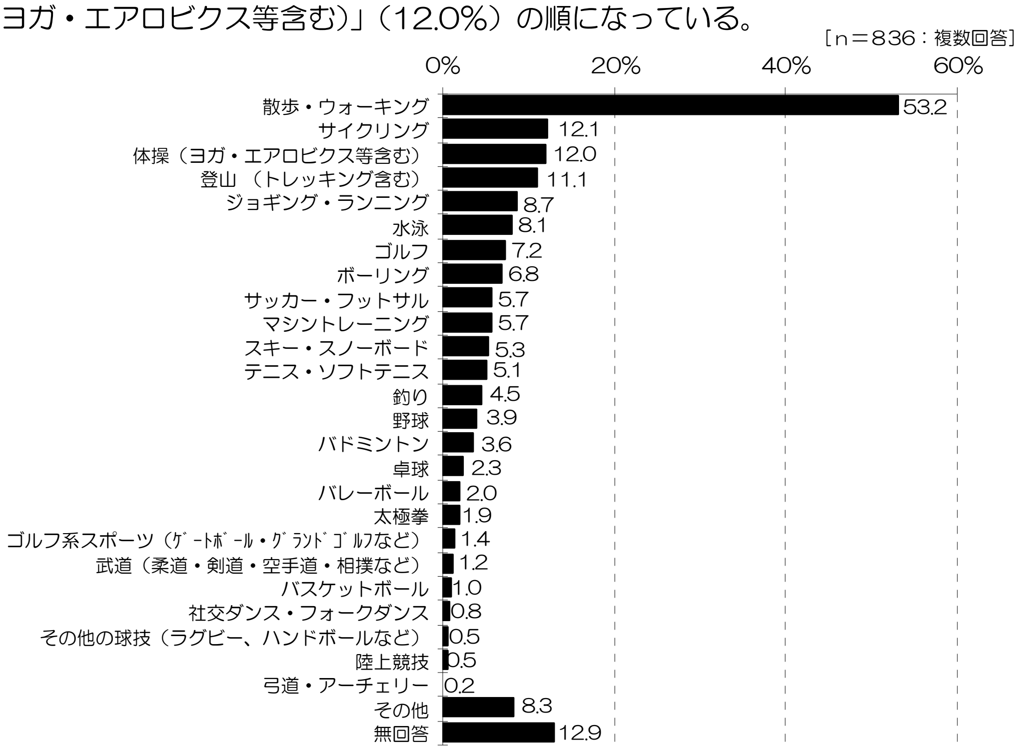

図 27　この１年間に行ったスポーツ・運動

■今後行ってみたいスポーツや運動は何か（n=836：複数回答）

「散歩・ウォーキング」（31.1%）が最も高い。次いで「体操（ヨガ・エアロビクス等含む）」（19.3%）、「水泳」（14.2%）の順になっている。

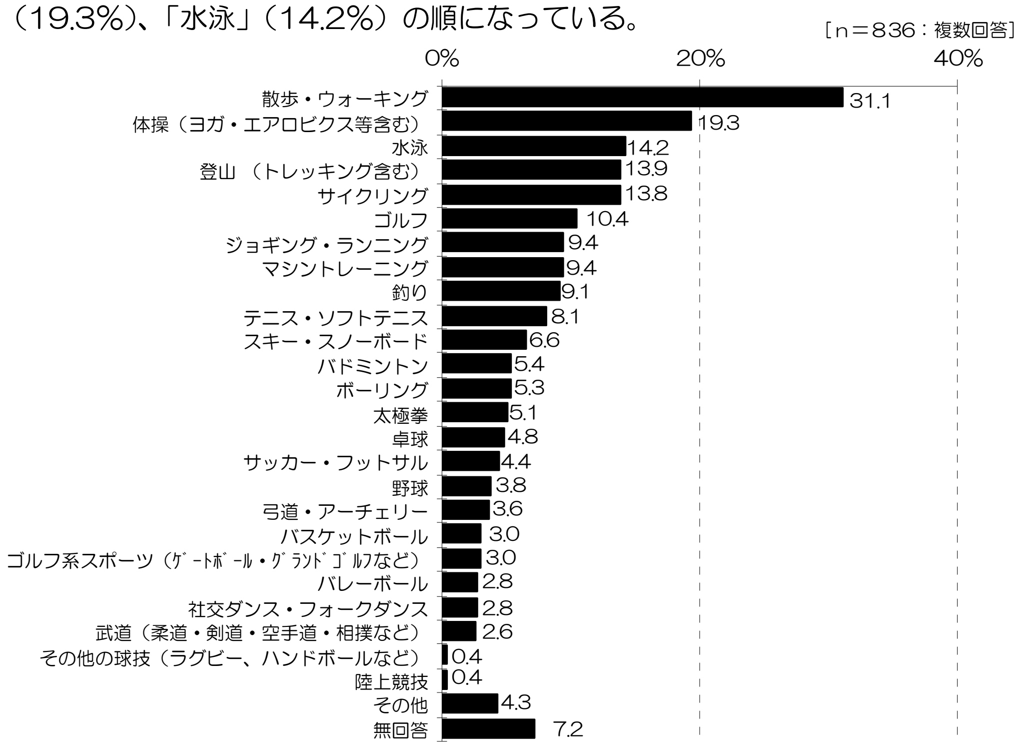

図 28　今後行ってみたいスポーツ・運動

■この１年間にスポーツを支える活動をどの程度行ったか（n=836）

「特にやっていない」（83.3%）が 8 割半ばを占め最も高い。次いで「週に１、２回程度」（5.5%）、「月に１、２回程度」（3.1%）、「半年に１、２回程度」（2.2%）の順になっている。

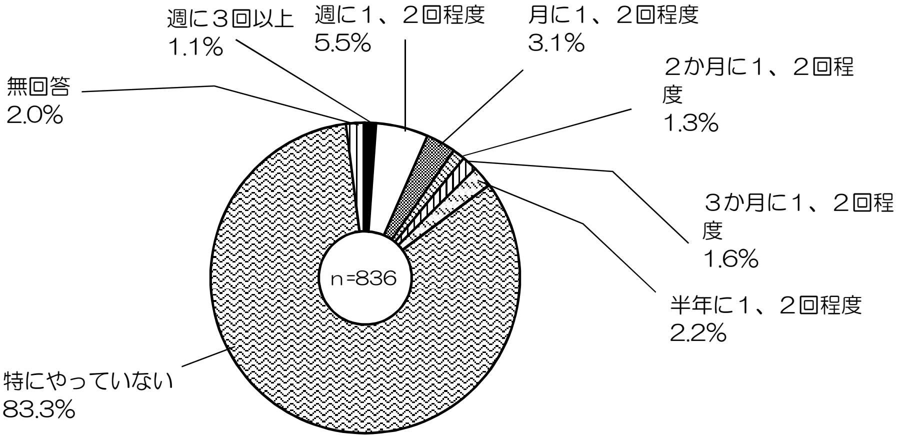

図 29　スポーツを支える活動を行った程度

補足説明　スポーツを支える活動とは、クラブ、スポーツ団体などの運営・支援、スポーツイベントのボランティア、お子さんのスポーツ・運動の部活動やクラブ等の運営・支援などの活動

■スポーツ施設の予約が行える公共施設予約システムに満足しているか（n=836）

「利用したことがない」（75.6%）が7割半ばを占め最も高い。「満足」（4.2%）、「ほぼ満足」（12.3%）を合わせた『満足している』割合は 16.5%となっている。

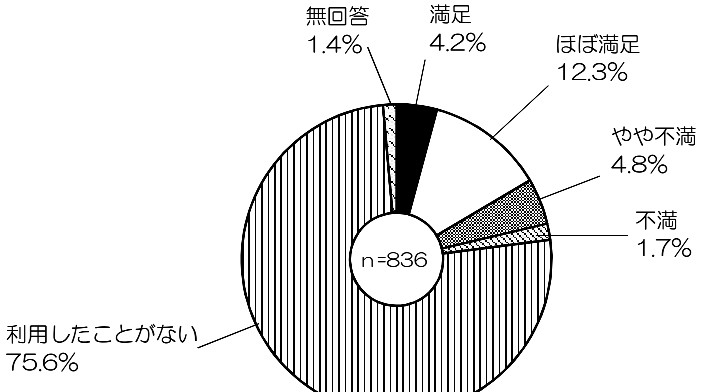

図 30　公共施設予約システムの満足度

【災害時の備え】について

■市が整備している災害時の情報伝達手段を知っているか（n=836：複数回答）

「防災行政無線」（46.3%）が４割半ばを占め最も高い。次いで「府中市ホームページ」（41.4%）、「緊急速報メール」（23.4%）、「府中市メール配信サービス」（19.3%）の順になっている。

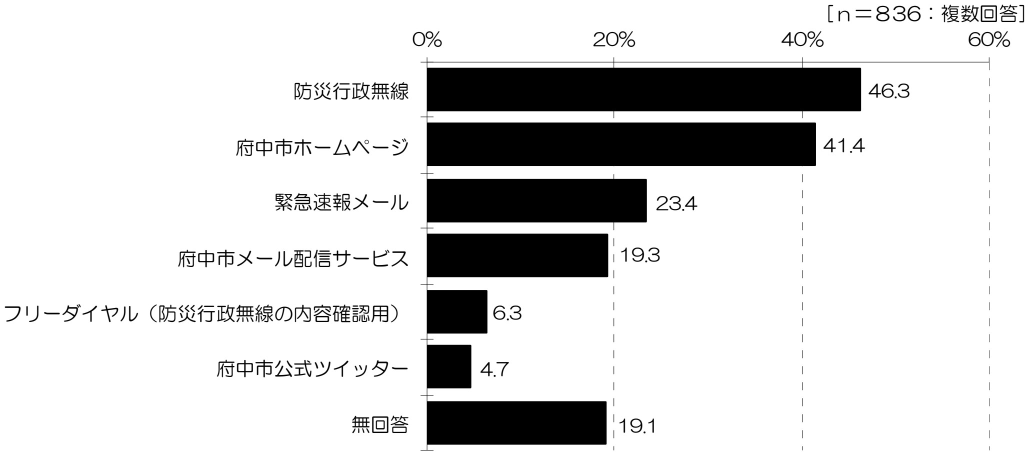

図 31　市が整備している災害時の情報伝達手段の認知度

■夕方の時報放送（通称：愛の鐘）の自宅での聞こえ方はどうか（n=836）

「家の中でもよく聞こえる」（45.6%）が４割半ばを占める。一方、「家の外では聞こえるが、家の中では聞こえない、聞き取りづらい」（40.7%）も４割を占めている。

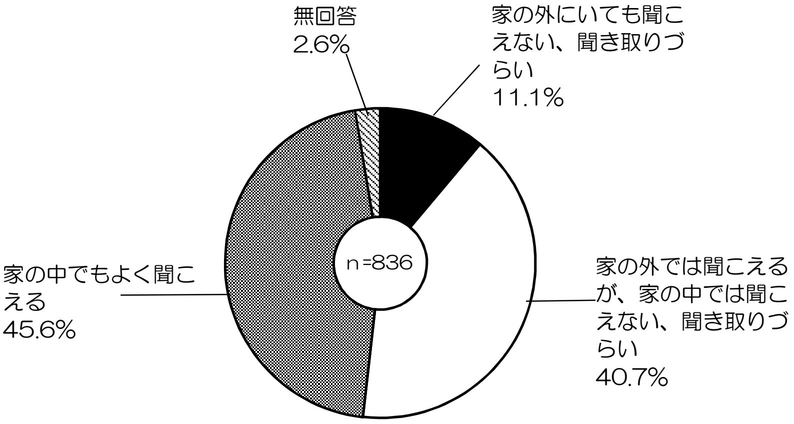

図 32　時報放送（通称：愛の鐘）の自宅での聞こえ方

■防災行政無線で放送された災害情報が聞き取りづらかった場合、最初にどの手段で放送内容を確認するか（n=836）

「府中市ホームページ」（33.0%）が最も高く、次いで「フリーダイヤル（防災行政無線の内容確認用）」（19.5%）、「緊急速報メール」（16.0%）の順になっている。

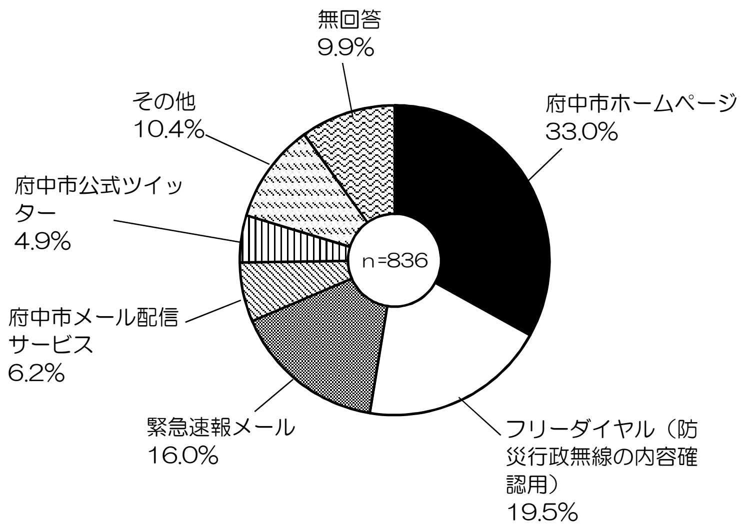

図 33　防災行政無線の放送内容の再確認手段

■家族全員の分を考慮した「災害時用として備蓄している食料」は何日分あるか（n=836）

「３日分」(30.9%)が最も高く、次いで「備蓄していない」(26.9%)、「２日分」(20.9%)、「１日分」（13.8%）の順となっている。

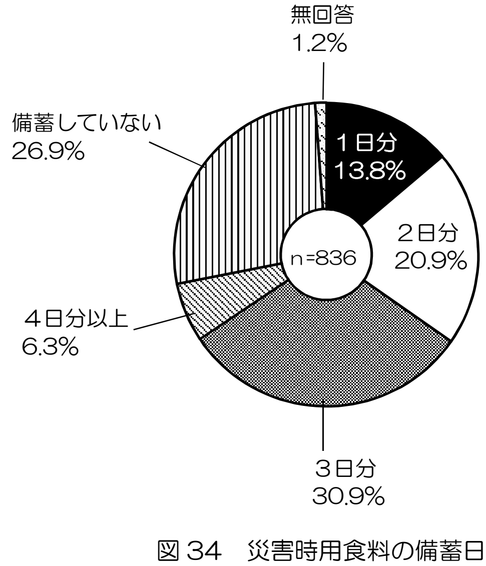

図 34　災害時用食料の備蓄日数

■家族全員の分を考慮した「災害時用として備蓄している飲料水」は何日分あるか（n=836）

「備蓄していない」（27.6%）が最も高く、次いで「１日分」（20.8%）、「２日分」及び「３日分」（20.3%）の順となっている。

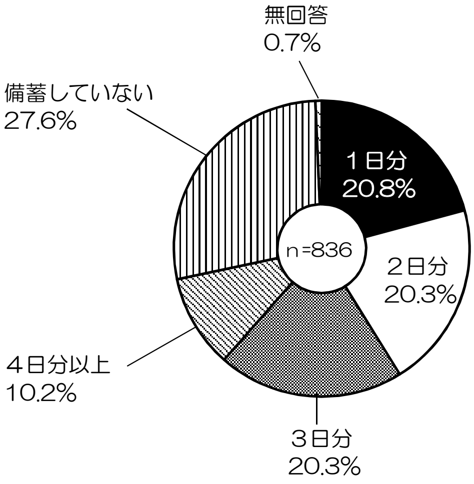

図 35　災害時用飲料水の備蓄日数

補足説明　大人１人当たり、１日に必要な飲料水の量については、３リットルを目安とする。

■災害時の食料や飲料水の備蓄に関してどのように考えているか　（n=836）

「３日間程度生活できる分は、各家庭で備蓄しておくべきである」（63.8%）が６割半ばを占め最も高い。

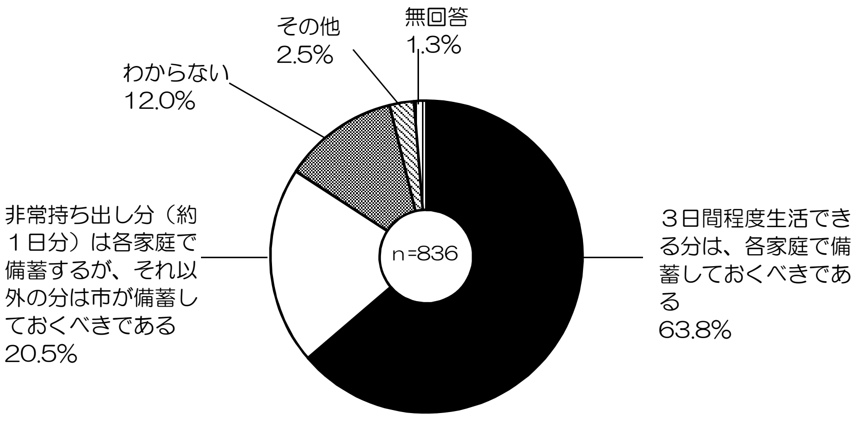

図 36　災害時の食料や飲料水の備蓄に関する考え方

■災害時に一時的に避難する場所をあらかじめ決めているか（n=836）

災害時に一時的に避難する場所をあらかじめ「決めている」（57.7%）が 6 割近くを占める。一時的に避難しようと「決めている」具体的な場所は、「市立小中学校の校庭」（51.7%）、「公園や空地」（33.4%）の順である。

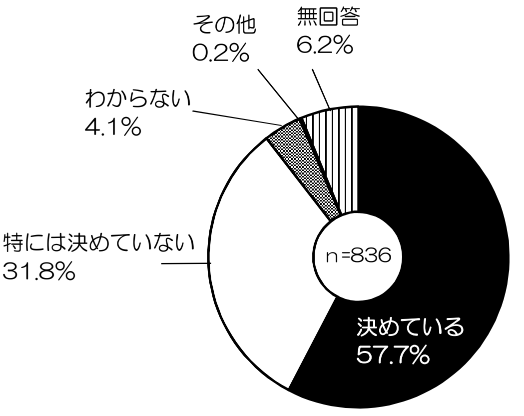

図 37　災害時に一時的に避難する場所を決めているか

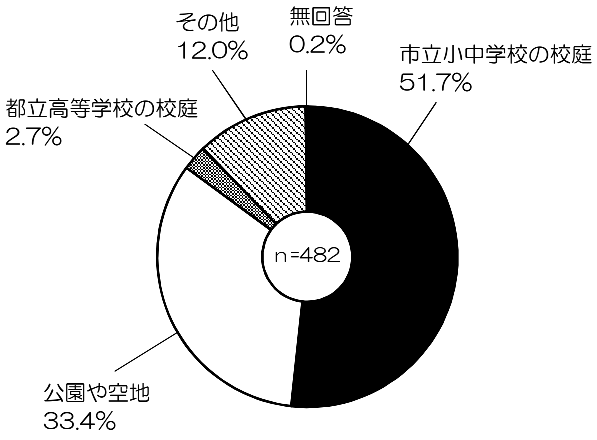

図 38　一時的に避難しようと決めている具体的な場所

■大規模災害が発生し、ライフラインは停止したが、自宅に倒壊や火災延焼の危険がない場合、発災から３日間程度はどのように行動するか（n=836）

「自宅に備蓄している食料等があるので、可能な限り自宅に留まる」（40.1%）が４割を占め最も高く、次いで「自宅に留まるが、備蓄している食料等がないので、一次避難所に食料等を取りに行く」（32.4%）、「近くの一次避難所（市立小中学校の体育館）に避難する」（17.7%）の順になっている。

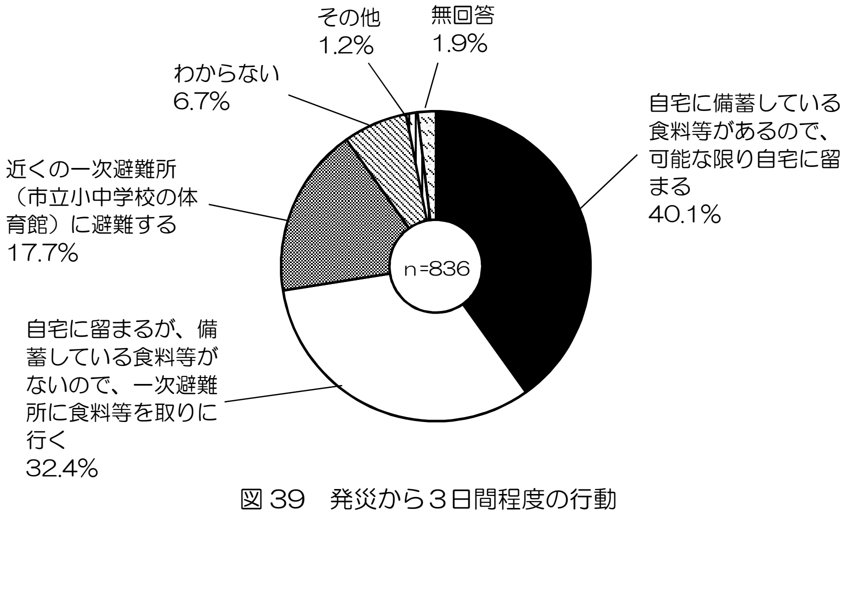

図 39　発災から３日間程度の行動

【けやき並木及び周辺におけるまちづくり】について

■けやき並木及び周辺を利用する頻度はどのくらいか（n=836）

「１か月に１回程度」（20.5%）が最も高く、次いで「２週間に１回程度」（19.1%）、「主に平日、週１～３回程度」（17.3%）、「主に休日、週１～３回程度」（11.6%）の順となっている。

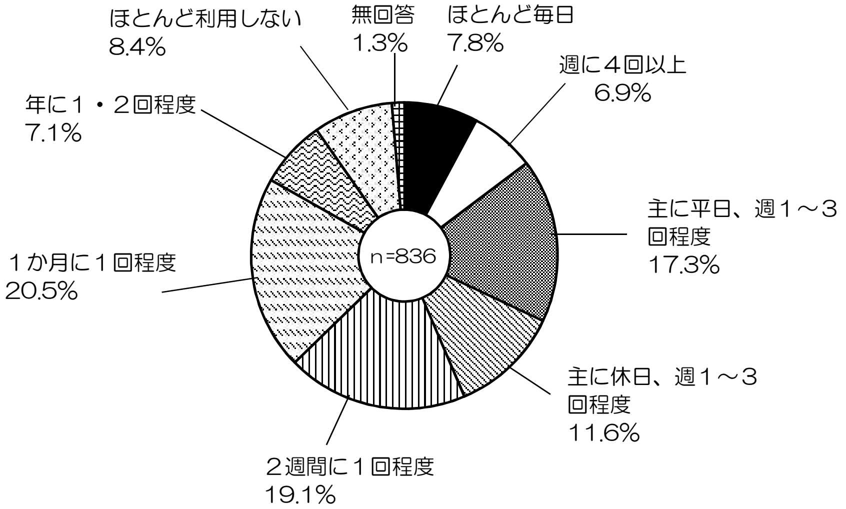

図 40　けやき並木及び周辺を利用する頻度

■けやき並木及び周辺にどのような魅力を感じているか（n=836：複数回答）

「けやきの古木が立ち並ぶ歴史的な並木景観があること」（58.9%）が 6 割近くを占め最も高く、次いで「府中市の表玄関にふさわしい緑のシンボルであること」（38.2%）、「商店街や繁華街などに隣接する市民生活に密着した場であること」（24.5%）の順になっている。

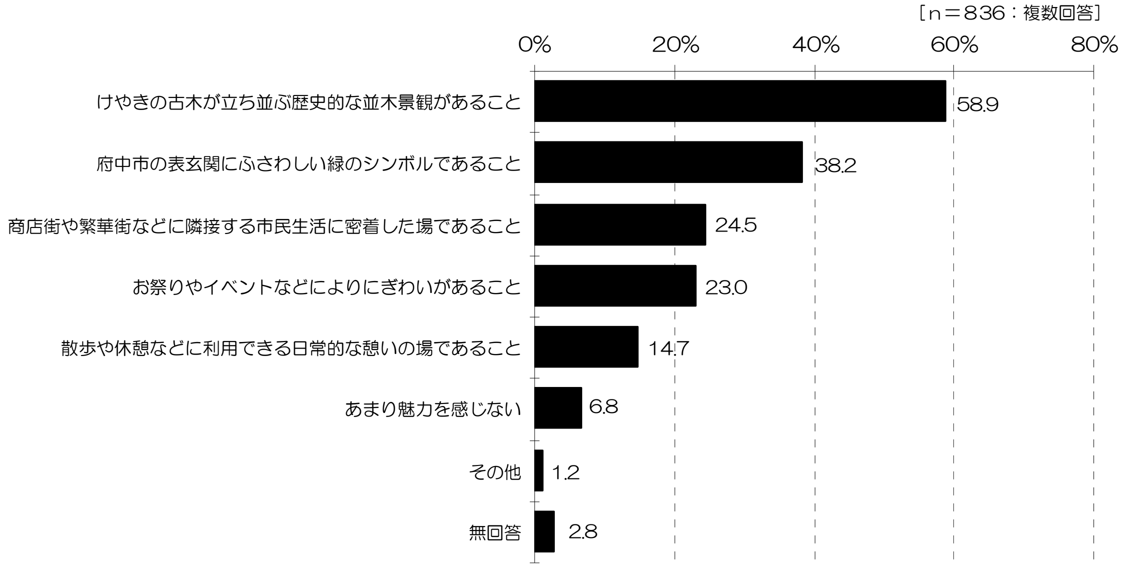

図 41　けやき並木及び周辺に感じる魅力

■けやき並木及び周辺のにぎわいについて、どの程度満足しているか（n=836）

「満足している」（26.9%）、「どちらかといえば満足している」（57.7%）を合わせると、８割半ば（84.6%）が『けやき並木及び周辺のにぎわいに満足』している。

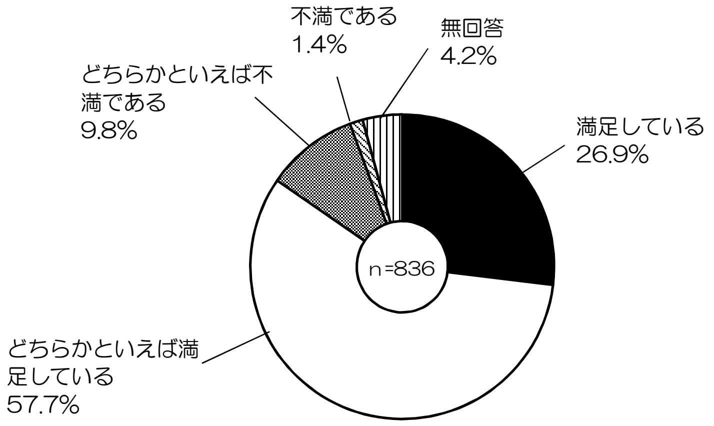

図 42　けやき並木及び周辺のにぎわいの満足度

■けやき並木及び周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりのため、どのような取り組みを進めるとよいか（n=836：複数回答）

「環境美化活動（清掃、路上喫煙禁止ＰＲなど）を推進する」（36.4%）が最も高く、次いで、「けやき並木通りの車両交通規制を推進する」（34.8%）、「オープンカフェのようにベンチやテーブルなどを設置する」（32.4%）の順になっている。

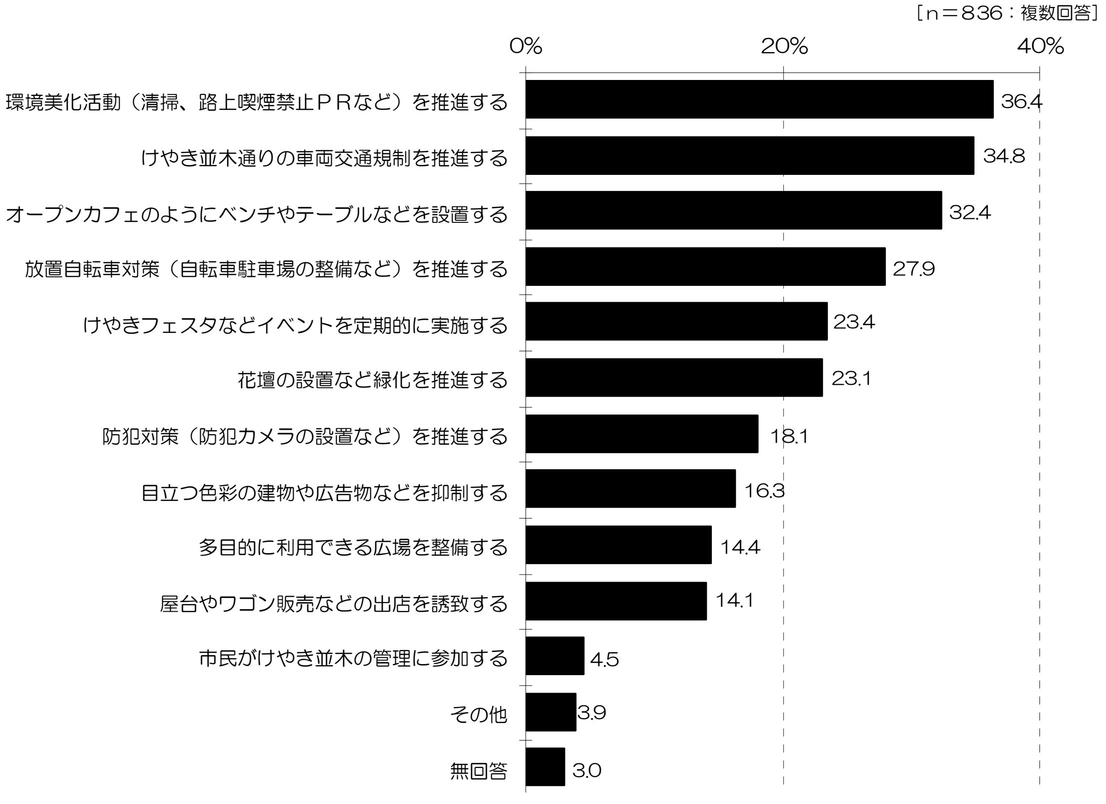

図 43　けやき並木及び周辺のにぎわいと魅力あるまちづくりを進める取り組み

第 45 回府中市市政世論調査（概要版）
平成 25 年 9 月

発行：府中市政策総務部広報課
東京都府中市宮西町二丁目 24 番地
Tel 042-366-1711
実施：株式会社ＴＤＳ
東京都府中市晴見町二丁目 24 番地の 1
Tel 042-352-3330